

人生一発勝負

八人の子供を育て、定置網の親方の女房になった明治生まれの女が語る一代記。

愚安亭遊佐

ぐあんてい

ゆうざ

ひとり芝居

35周年

芝居の主人公は、私の母。
その母が亡くなる3日前、
私に語った
『私は、ここに嫁にくる
女ではなかった』

その言葉は、私が聞いた
母の最期の言葉。

その言葉の意味を求めて、
3年彷徨い、初演を何とかやった。
あれから35年・・・



東京/新宿 SPACE 雑遊



10月 7日(火) PM 7:00 ~
8日(水) PM 7:00 ~
9日(木) PM 7:00 ~
10日(金) PM 7:00 ~
11日(土) PM 3:00 ~
※開場は30分前

チケット

前売 ¥3,500 当日 ¥4,000

チケットは期日指定になります。

お問い合わせ・予約 遊佐企画企画 木本まで 090-2328-1175

私が、ひとり芝居を初めて、今年(2014年)で35年になる。初演は1979年の夏、東京のアパートを引き払い、帰るところのない旅に出る、決意のはなむけのつもりで上演した。芝居の主人公は、1976年になくなった私の母。その母が亡くなる3日前、私に語った『私は、ここに嫁にくる女ではなかった』その言葉は、私が聞いた母の最期の言葉。その言葉の意味を求めて、3年彷徨い、初演を何とかやった。

あれから35年、母の言葉の謎は解けていない。しかし、私の年齢は母の死んだ年に近くなった。そのことで、わかりかけてきたこともいくつかある。人は生まれる場所も、時も選べない。ただ生まれた事実を受け、生きるしかない。明治、大正、昭和を生きた母は時代に翻弄されながらも、己の命を全うした。その母の生涯を語ることで、北海道から沖縄まで、1000回を超える上演をし、共感を得てきた。35年は、ひとつの節目であり、新たな出発でもある。解けない謎への持続し続ける挑戦。わたしの母の人生が重なりかけている。



人生一発勝負

愚安亭遊佐 (ぐあんてい ゆうざ)
ひとり芝居
35周年



愚安亭遊佐 (ぐあんてい ゆうざ)

1946年青森県むつ市閼根浜に漁師の網元の八人兄弟の五男として生まれる。「劇団三十人会」を経て、自ら「劇団ほかい人群」を結成。1979年、母の死をきっかけに、ひとり芝居「人生一発勝負」を作り、全国芝居行脚の旅に出る。「人群れる所、常に劇場を」と、全国津々浦々1,800回以上の公演を重ねる。1999年、第54回文化庁芸術祭 優秀賞を「人生一発勝負」の演技で受賞。現在、10作のひとり芝居を自作自演。

愚安亭遊佐 受賞歴

1994年 第9回旭川市民劇場賞 特別賞
1996年 厚木演劇鑑賞会演劇賞 特別賞
1996年 むつ市文化奨励賞
1999年 第54回文化庁芸術祭 優秀賞
2000年 加茂市表彰 教育文化功労

【スタッフ】

原案：松橋勇蔵
脚色 / 構成 / 演出：結 純子
舞台監督 / 照明 / 音響：木本 博
問い合わせ先 遊佐企画：木本 090-2328-1175
宣伝美術：エムキュウデザイン

協力：下北半島プロジェクト

■公演スケジュール

新潟市北区文化会館	9月20日(土) PM3:00
釜石市宝樹寺本堂	22日(日) PM7:00
小樽市無尽ビル「遊人 002」	24日(水) PM7:00
旭川市民文化会館	25日(木) PM6:30
北見市瑞野町公民館グリーンホール	26日(金) PM7:00

以上・問い合わせ先 北海道演劇財団 011-520-0710

新潟県加茂市 シアター遊佐 (加茂市穀町 旧加藤眼科)	10月2日(木) PM7:00
	3日(金) PM7:00
	4日(土) PM2:00

東京新宿 スペース雑遊	10月7日(火) PM7:00
	8日(水) PM7:00
	9日(木) PM7:00
	10日(金) PM7:00
	11日(土) PM3:00

問い合わせ先 遊佐企画 木本 090-2328-1175